

## 1. ICT委員会 会議報告

愛知大学情報メディアセンターの事業および運営は、ICT企画会議のもと、三校舎合同のICT委員会を設置し、豊橋および名古屋（車道メディアゾーン含む）情報メディアセンターの事業を推進する。  
(2014年10月から2015年9月まで)

2014年度

◇第4回11月28日

1. 2015年度新規予算申請について
2. 2015年度事業計画（研究政策・企画会議依頼分）について
3. 2015年度事業計画（企画課依頼分）について
4. LMS委員の選出について
5. 2015年度情報メディアセンター開館スケジュールについて

協議・報告事項

1. 2014年度補正予算申請について
2. 学友会寄付PCについて

◇第5回12月5日

1. 2015年度新規予算申請について

◇第6回1月28日

1. 豊橋情報メディアセンター開館時間について
2. ソフトウェア利用申請について
3. 愛知大学情報メディアセンター利用規則改正について

2015年度

◇第1回5月21日

1. ICT委員会推薦委員の選出について
  - 1) 情報セキュリティ部会委員
  - 2) LMS運営協議会委員
2. 2015年度COM編集委員の選出について
3. 2015年度新規予算 豊橋・車道校舎ネットワーク機器更新（コアスイッチ入替）について
4. 2015年度新規予算 メディアゾーンプリンタ更新について

協議・報告事項

1. 名古屋情報メディアセンター開館スケジュール修正について

## 2. 情報メディアセンター主催行事

(2014年10月～2015年9月)

### ◆豊橋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月7日 (火)	PowerPoint 講習会	421教室	3人
10月14日 (火)	Word 講習会 基礎編	421教室	4人
10月24日 (金)	Excel 講習会	423教室	1人
10月29日 (水)	PowerPoint 講習会	413教室	2人
11月10日 (月)	Word 講習会	413教室	1人
11月18日 (火)	Excel 講習会 関数編	421教室	7人
11月28日 (金)	PowerPoint 講習会	423教室	2人
12月1日 (月)	Word 講習会 応用編	413教室	6人
5月11日 (月)	Word 講習会 基礎編	413教室	1人
5月15日 (金)	Excel 講習会 基礎編	413教室	3人
5月20日 (水)	PowerPoint 講習会	413教室	2人
5月29日 (金)	Word 講習会 基礎編	413教室	3人
6月12日 (金)	Excel 講習会 基礎編	413教室	7人
6月17日 (水)	PowerPoint 講習会	413教室	5人
6月23日 (火)	Excel 講習会 基礎編	421教室	2人
7月1日 (水)	Word 講習会 基礎編	413教室	9人
9月30日 (水)	Excel 講習会 グラフ編	421教室	3人

### ◆名古屋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月2日 (木)	パワーポイント講習会 (PowerPoint2010)	L713教室	2人
10月2日 (木)	グラフ作成講習会 (Excel2010)	L713教室	1人
10月9日 (木)	エクセル関数講習会 (Excel2010)	L713教室	2人
10月14日 (火)	文書作成講習会 (Word2010)	L709教室	1人
10月24日 (金)	グラフ作成講習会 (Excel2010)	W401教室	1人
10月27日 (月)	エクセル関数講習会 (Excel2010)	GWR1	1人

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
11月17日（月）	文書作成講習会（Word2010）	L712教室	3人
11月18日（火）	グラフ作成講習会（Excel2010）	W403教室	20人
11月28日（金）	エクセル関数講習会（Excel2010）	L713教室	6人
12月10日（水）	パワーポイント講習会（PowerPoint2010）	W403教室	4人
12月15日（月）	グラフ作成講習会（Excel2010）	L712教室	1人
2月3日（火）	エクセル関数講習会（Excel2010）	W403教室	2人
2月3日（火）	グラフ作成講習会（Excel2010）	W403教室	2人
2月27日（金）	パワーポイント講習会（PowerPoint2010）	W403教室	1人
4月10日（金）	文書作成講習会（Word2010）	L713教室	1人
4月16日（木）	エクセル関数講習会（Excel2010）	L713教室	1人
4月24日（金）	グラフ作成講習会（Excel2010）	GWR2	1人
4月27日（月）	文書作成講習会（Word2010）	L713教室	1人
5月1日（金）	パワーポイント講習会（PowerPoint2010）	L713教室	2人
5月1日（金）	グラフ作成講習会（Excel2010）	L712教室	1人
5月11日（月）	文書作成講習会（Word2010）	GWR2	1人
5月15日（金）	エクセル関数講習会（Excel2010）	L712教室	1人
5月18日（月）	グラフ作成講習会（Excel2010）	L713教室	1人
5月20日（水）	グラフ作成講習会（Excel2010）	W403教室	1人
6月10日（水）	グラフ作成講習会（Excel2010）	L712教室	18人
6月15日（月）	パワーポイント講習会（PowerPoint2010）	L713教室	1人
6月24日（水）	文書作成講習会（Word2010）	W401教室	36人
6月29日（月）	エクセル関数講習会（Excel2010）	L713教室	5人
7月3日（金）	パワーポイント講習会（PowerPoint2010）	W403教室	15人
8月7日（金）	グラフ作成講習会（Excel2010）	W404教室	1人
8月7日（金）	エクセル関数講習会（Excel2010）	W404教室	1人
8月25日（火）	パワーポイント講習会（PowerPoint2010）	W404教室	2人
8月25日（火）	文書作成講習会（Word2010）	W404教室	2人

◆車道校舎：主催行事なし



## 2. Moodle 利用状況

### (A) コース利用状況

運用開始6年目の2014年度は、433コース、延べ209名の教員の利用があった。  
合計コース数は、前年度と比較して横ばいである。

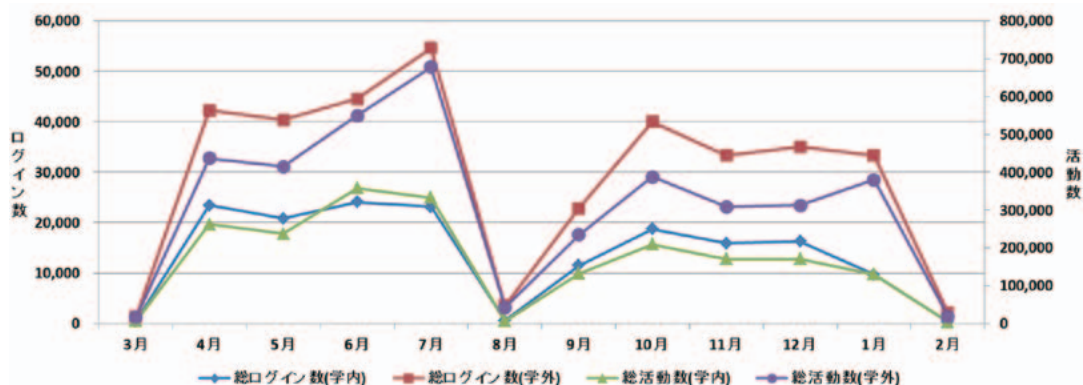
表3. 2014・2013年度コース登録数及び利用教員数（利用人数は、延べ人数）

カテゴリ	14年度春学期		14年度秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	37	17	10	7	47	24	147%	109%
共通教育科目〈名古屋〉	71	24	25	14	96	38	77%	75%
法	20	11	6	3	26	14	96%	93%
現中	13	6	11	8	24	14	114%	117%
経営	54	22	14	6	68	28	124%	104%
経済	12	10	7	6	19	16	73%	84%
文	24	14	8	5	32	19	100%	119%
国コミ	22	9	21	6	43	15	113%	125%
地域	31	12	16	7	47	19	100%	70%
短大	6	2	4	3	10	5	83%	56%
法科	5	4	2	2	7	6	175%	150%
会計	1	1	0	0	1	1	20%	33%
大学院	2	2	3	2	5	4	125%	133%
資格課程	1	1	5	4	6	5	300%	250%
その他	0	0	2	1	2	1	100%	50%
合計	299	135	134	74	433	209	100%	93%

カテゴリ	13年度春学期		13年度秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	21	15	11	7	32	22	68%	110%
共通教育科目〈名古屋〉	91	32	34	19	125	51	121%	100%
法	21	10	6	5	27	15	142%	107%
現中	13	6	8	6	21	12	81%	75%
経営	41	19	14	8	55	27	102%	113%
経済	16	11	10	8	26	19	137%	127%
文	18	9	14	7	32	16	119%	145%
国コミ	24	7	14	5	38	12	152%	100%
地域	28	16	19	11	47	27	261%	245%
短大	8	5	4	4	12	9	86%	113%
法科	4	4	0	0	4	4	50%	100%
会計	3	1	2	2	5	3	63%	50%
大学院	3	2	1	1	4	3	100%	75%
資格課程	1	1	1	1	2	2	-	-
その他	1	1	1	1	2	2	40%	40%
合計	293	139	139	85	432	224	115%	111%

(B) サイトアクセス状況

図1. 2014年度 学内・学外からのログイン数・活動数推移（月別）



		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2012年度	総ログイン数(学内)	319	15,530	17,858	18,988	19,311	406	9,196	20,924	16,668	13,779	9,039	370
	総ログイン数(学外)	1,354	14,516	19,652	18,351	22,994	1,848	8,676	20,375	17,743	15,522	20,803	1,690
	総活動数(学内)	2,396	181,336	201,265	224,048	244,997	5,165	98,931	230,957	174,477	149,246	133,412	5,715
	総活動数(学外)	8,556	138,848	195,203	170,105	259,692	15,931	83,282	211,779	159,492	146,829	334,989	15,460
	ログインあたり活動数(学内)	7.51	11.68	11.27	11.80	12.69	12.72	10.76	11.04	10.47	10.83	14.76	15.45
	ログインあたり活動数(学外)	6.32	12.09	12.61	12.73	15.71	9.41	9.81	14.69	14.12	12.10	13.21	9.99
2013年度	総ログイン数(学内)	564	22,254	23,390	24,039	23,439	480	9,007	22,122	17,883	16,256	10,372	338
	総ログイン数(学外)	1,671	15,608	19,657	17,375	25,468	2,322	7,712	20,704	16,833	17,047	22,112	1,515
	総活動数(学内)	8,637	268,775	258,609	301,004	304,371	5,888	93,537	228,392	181,287	168,084	130,052	3,555
	総活動数(学外)	21,869	173,733	203,293	186,040	315,713	23,688	72,233	182,621	136,228	154,839	227,217	11,941
	ログインあたり活動数(学内)	15.31	12.08	11.06	12.52	12.99	12.27	10.38	10.32	10.14	10.34	12.54	10.52
	ログインあたり活動数(学外)	13.09	11.13	10.34	10.71	12.40	10.20	9.37	8.82	8.09	9.08	10.28	7.88
2014年度	総ログイン数(学内)	422	23,432	20,815	24,106	23,120	580	11,477	18,695	15,879	16,254	9,666	358
	総ログイン数(学外)	949	18,845	19,571	20,438	31,537	2,979	11,344	21,338	17,437	18,741	23,653	1,738
	総活動数(学内)	6,125	262,064	237,469	358,035	332,887	6,766	132,431	208,835	170,986	170,574	129,664	3,690
	総活動数(学外)	10,375	174,669	177,379	191,456	345,124	35,882	102,170	178,857	137,450	142,081	250,511	15,049
	ログインあたり活動数(学内)	14.51	11.18	11.41	14.85	14.40	11.67	11.54	11.17	10.77	10.49	13.41	10.31
	ログインあたり活動数(学外)	10.93	9.27	9.06	9.37	10.94	12.04	9.01	8.38	7.88	7.58	10.59	8.66
前年同月比	総ログイン数(学内)	74.8%	105.3%	89.0%	100.3%	98.6%	120.8%	127.4%	84.5%	88.8%	100.0%	93.2%	105.9%
	総ログイン数(学外)	56.8%	120.7%	99.6%	117.6%	123.8%	128.3%	147.1%	103.1%	103.6%	109.9%	107.0%	114.7%
	総活動数(学内)	70.9%	97.5%	91.8%	118.9%	109.4%	114.9%	141.6%	91.4%	94.3%	101.5%	99.7%	103.8%
	総活動数(学外)	47.4%	100.5%	87.3%	102.9%	109.3%	151.5%	141.4%	97.9%	100.9%	91.8%	110.3%	126.0%

### 3. ICT委員会構成員

#### ◆ICT委員（2015年10月1日現在）

役職名	所 属	氏 名
情報メディアセンター所長	法 学 部	松井 吉光
委 員	法 学 部	多田 哲也
	経 済 学 部	阿部 武彦
	経 営 学 部	小野 良太
	現代中国学部	土橋 喜
	国際コミュニケーション学部	梅垣 敦紀
	文 学 部	近藤 暁夫
	地域政策学部	蔣 湧
	短期大学部	龍 昌治
	法科大学院	伊藤 博文

#### ◆情報メディアセンター事務室

情報システム課	課 長	三浦 文博
	係 長	石原有希子
	課 員	石川 彰吾
		佐藤 源
	濱口 庸介	
豊橋情報メディアセンター事務室	係 長	宮部 浩之
情報システム課 車道分室	係 長	水谷 伸司

#### 4. 愛知大学 情報メディアセンター沿革・歴代所長

年度	組織		所長（任期）		システム沿革
			豊橋	名古屋	
1978					IBM製ホストコンピュータ4331 導入
1979					
1980	電子計算機センター	電子計算機センター委員会			
1981			津村 善郎 (1980. 4. 1～1982. 4. 30)		
1982					
1983			福田 治郎 (1982. 5. 1～1985. 3. 31)		
1984					
1985					
1986					
1987			高橋 正 (1985. 4. 1～1989. 3. 31)		
1988					第1期教育研究情報システム稼働 1988.4-1991.3
1989	情報処理センター	情報処理センター委員会 豊橋情報処理センター委員会 名古屋情報処理センター委員会		坂東 昌子 (1989. 4. 1～1990. 9. 30)	日立製ホストコンピュータ(HITAC M-640/20) 導入
1990					
1991			藤田 佳久 (1989. 4. 1～1994. 9. 30)	浅野 俊夫 (1990. 10. 1～1992. 9. 30)	第2期教育研究情報システム稼働 1991.4-1994.3
1992					
1993				有澤 健治 (1992. 10. 1～1994. 9. 30)	
1994					第3期教育研究情報システム稼働 1994.10-1997.3 (全校舎学内LAN敷設)
1995					
1996			樋口 義治 (1994. 10. 1～1998. 9. 30)	長谷部 勝也 (1994. 10. 1～1998. 9. 30)	
1997					第4期教育研究情報システム稼働 1997.4-2000.9 (延長6ヶ月)
1998					
1999			宮沢 哲男 (1998. 10. 1～2000. 3. 31)	有澤 健治 (1998. 10. 1～2000. 9. 30)	
2000					10月 第5期教育研究情報システム稼働
2001			小津 秀晴 (2000. 4. 1～2002. 9. 30)	田川 光照 (2000. 10. 1～2002. 9. 30)	
2002					
2003					
2004	情報メディアセンター	情報メディアセンター委員会 豊橋情報メディアセンター委員会 名古屋情報メディアセンター委員会		坂東 昌子 (2002. 10. 1～2006. 9. 30)	4月 第6期教育研究情報システム稼働
2005			龍 昌治 (2002. 10. 1～2008. 9. 30)		
2006		情報メディアセンター運営会議 豊橋情報メディアセンター運営会議 名古屋情報メディアセンター運営会議			
2007				中尾 浩 (2006. 10. 1～2008. 9. 30)	
2008		ICT企画会議 豊橋ICT委員会 名古屋ICT委員会			4月 第7期教育研究情報システム稼働
2009			蔭 湧 (2008. 10. 1～2010. 9. 30)		
2010				伊藤 博文 (2008. 10. 1～2012. 9. 30)	
2011			香掛 俊夫 (2010. 10. 1～2012. 9. 30)		
2012		ICT委員会			4月 新名古屋校舎システム稼働
2013				中尾 浩 (2012. 10. 1～2014. 9. 30)	
2014					
2015				松井 吉光 (2014. 10. 1～)	



## 編集後記

本号の紀要COMには多くの寄稿を集めることができた。ここに注目しておきたいのは、論文の本数だけではなく、多分野にわたる論文の内容である。愛大の紀要COMは、これまでの情報教育に限る研究からIT技術を活用した多分野の研究まで、その掲載範囲が広がりつつあるのではないかと、筆者は感じている。このようなことを確認するために、筆者は情報メディアセンターのホームページに掲載している2001年以降の紀要COMの目次を眺めながら、その間の歴史を顧みた。

2001年は、Windows XPが登場した年であった。当時、愛知大学は第5期の教育研究システムが稼働し、情報メディアセンターには、主にWindows XPの環境で、Office XPを用いた教育環境を備えた。豊橋校舎の情報リテラシー教育は、主にWordとExcelの紹介と応用を取り上げ、上級者に対しては、VBプログラミングやHTMLでのホームページ作成などの演習を行った。当時、インターネットの普及により、世間はWebアプリケーションへの関心が高まっていた。愛大においても、各学部のホームページが次々と登場し、その作成の過程において、情報科目の担当教員たちが大きな役割を果たしたことは、印象に残っていた。

そのような背景のもと、2001年～2007年までの紀要COMには、インターネットを活用した教育コンテンツの作成やWebシステム構築に関する論文と記事が盛んであった。学生と教員が自ら開発した「学内授業評価システム」は、その時期（2005年）の「作品」であった。2008年以降、LMSを活用した授業実践やMoodleシステムの利用などが紀要COMの主役になった。代表的な記事として、Excel、Word自動採点システムHITsの構築、Moodleを活用した自動採点、出欠管理などが挙げられ、数多くの研究と開発に関する論文と記事が掲載された。改めて、紀要COMは愛大の情報教育に関するシステムとコンテンツの開発と研究に特化したものだと感じた。

一方、IT技術を活用した研究は、早い段階から紀要COMに登場していた。中国語研究に関するシステム構築とコンテンツ作成や、法制研究に関わるITの活用、空間情報システムの研究などは、情報担当教員の個人研究として数多くの実績が残っていた。本号の紀要COMにこのような研究論文が大幅に増え、その分野は脳波の研究、人工知能の研究、GISを活用した地域研究まで広がり、まだ人数的には限りがあるものの、情報担当以外の教員からの寄稿も確認され、喜ばしい傾向として受け止めている。

愛大のような文系大学において、情報科学に関する研究は、従来の「システム構築」から今後の「情報価値の創出」へ、時代の流れと地域社会の要望に沿ってその姿が変わっていくと筆者は確信している。もしそうであれば、新風を吹き込んだ紀要COMには、必ず明るい未来があり、より多くの教員が、より活発な研究報告をCOMに寄稿されることを心から期待するとともに、本号紀要COMに寄稿した方々に御礼を申し上げます。

(YJ)

## 愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉 原稿募集要項

情報メディアセンター紀要〈COM〉は、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては、情報メディアセンターまでお問い合わせください。

### 1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員と共著とする。）
- (4) 編集委員会が認めたもの

### 2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に関する内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報メディアセンターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

### 3. 投稿原稿の区分

投稿された原稿は編集委員会の審査に従って、下記のように区分して掲載する。ただし、法令等に抵触する、内容に著しい不備がある、執筆要項に従わないなどの問題があるものは、原稿の修正を依頼することや、掲載を見合わせることもある。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) 情報教育実践報告
- (4) 書評（新刊・古典・ソフトウェア）
- (5) 学会動向

※原稿の体裁と見本については別紙を参照のこと。

### 4. 原稿の提出要領

- (1) 原稿は、プリントアウトしたものと電子ファイルの双方を提出すること。
- (2) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (3) 提出する電子ファイル名は、投稿原稿のタイトルとすること。
- (4) 図版等がある場合は、その電子ファイルもあわせて提出すること。  
図版等のファイル形式はjpegとする。
- (5) 提出ファイルは、Microsoft Wordまたはテキスト形式とする。

- (6) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の欧文を添えること。
- (7) 著者は連絡先（ゲラ等の送付先）の住所、電話番号を申し込み先の担当者まで連絡すること。

## 5. 投稿原稿の体裁

投稿原稿は横書きとし、図・表などは適切な場所に分かりやすく挿入すること。  
なお、投稿原稿はCOM編集委員会にて共通したフォーマットに統一する。

## 6. 校正

- (1) 校正は著者校正を2回とする。
- (2) 校正段階での内容の変更は、編集作業に支障をきたさない範囲で行なうこと。

## 7. 著作権

- (1) 提出された論文の著作権は、原則として愛知大学情報メディアセンターに属し、無断で複製あるいは転載することを禁じる。
- (2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は、著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題が生じないように十分に配慮すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、著者がその責を負う。
- (4) 著作人格権は著者に属する。
- (5) 本誌に掲載された原稿は、学内においては、愛知大学情報メディアセンターホームページおよび愛知大学リポジトリにてデジタル公開するものとする。
- (6) 本誌に掲載された原稿は、学外においては国立情報学研究所等へ登録される。

## 8. その他

- (1) 別刷りは著者に対して希望を調査し、原則として50部以内で無料進呈する。
- (2) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

以上

申し込み・問い合わせ：愛知大学情報メディアセンター  
担当：情報システム課 濱口・佐藤  
E-mail：johosystem@ml.aichi-u.ac.jp  
TEL：052-564-6117（内線20560）  
FAX：052-564-6217（内線20569）

## 愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉 執筆要項

### 1. 執筆言語

和文もしくは英文とする。

### 2. 原稿

- (1) **論文**……和文の場合は30,000文字程度，英文の場合は15,000 words程度を上限とする。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (2) **研究ノート**……和文の場合は20,000文字程度，英文の場合は10,000 words程度を上限とする。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (3) **情報教育実践報告**……和文の場合は20,000文字程度，英文の場合は10,000 words程度を上限とする。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (4) **書評（新刊・古典・ソフトウェア）**……和文の場合は5,000文字程度，英文の場合は3,000 words程度を上限とする。書評（新刊・古典）には図版等を挿入することはできないが，ソフトウェアレビューについては若干の図版を添えることが出来る。
- (5) **学会動向**……COMのフォーマットに従う。  
長文の場合は分裁や再提出等の措置を求めることがある。

### 3. 著者と所属

著者名と所属を記載し，著者名のあとにカッコ（ ）に入れて所属を記載する。

### 4. セクションタイトルとセクション記号

本文中の章，節，項，目などの立て方は，原則として以下のとおりとする。

(例)

1. 章タイトル
- 1.1 節タイトル
- 1.1.1 項タイトル
- (1) 目タイトル

### 5. 図・表・写真

図・表・写真は，本文中の適当な箇所に挿入すること。または，挿入箇所を明確にすること。

ただし，COM編集委員会にて挿入位置，サイズを変更する場合があるが，変更不可の場合は明記のこと。

#### (1) 表について

表の上部に「表○ 表名」（○は表の一連番号）を記載すること。

## (2) 図・写真について

図・写真の下部に「図○ 図名」（○は図の一連番号）または「写真○ 写真名」（○は写真の一連番号）を記載すること。

## 6. 要旨とキーワード

論文と研究ノートには要旨とキーワードをつける。要旨は400字以内(200words以内)で執筆し、本文と同じ言語でもよいし、異なった言語でもよい。キーワードは国立情報学研究所のCiNii等への正確な登録のために、5～7語程度のキーワードをつける。

## 7. 謝辞

謝辞を記載する場合は、本文の最後に謝辞と小見出しを使い記載する。

## 8. 注

注を記載する場合は、以下のいずれかの方法による。

- (1) 該当ページの下部または見開きの前後2ページ分の後のページの本文の下部に脚注として記載する。
- (2) 本文の末尾に後注として一括して記載する。本文の後に1行空けてから「注」という見出しを立て、その次の行から、注を一括して記載する。

上記のいずれの場合も本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い<sup>注1)</sup>のように上付きで記すこと。

## 9. 参考文献

参考文献の記載は、本文の後（注がある場合は注の後）に1行空けてから「参考文献」という見出しを立て、その次の行から、参考文献を一括して記載すること。本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い1)のように上付きで記すこと。

参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順に記す。引用番号の記し方は本文上に出現した順番とし、次の例を参照にされたい。

(例)

- 1) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6-10（1960）.
- 2) Feldman, J.and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113（1968）.
- 3) 大山一夫：電子計算機，p.300，情報出版，東京（1991）.
- 4) Wilkes, M. V: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York（1990）.

以上

---

---

愛知大学情報メディアセンター紀要 COM〔コム〕

Vol.26 No.1 第41号

2016年3月17日 印刷

2016年3月24日 発行

編集 愛知大学情報メディアセンター

〔COM〕編集委員会

発行 愛知大学情報メディアセンター

(名古屋) 名古屋市中村区平池町四丁目60-6

〒453-8777 TEL (052) 564-6117 (直通)

FAX (052) 564-6217

(豊橋) 豊橋市町畑町1-1

〒441-8522 TEL (0532) 47-4124 (直通)

FAX (0532) 47-4125

(車道) 名古屋市東区筒井二丁目10-31

〒461-8461 TEL (052) 937-8120 (直通)

FAX (052) 937-8121

印刷 株式会社荒川印刷

---

---